

## 令和6年度 第2回安曇野市博物館協議会 会議概要

1	会議名	令和6年度 第2回安曇野市博物館協議会
2	日時	令和6年10月29日(火) 午前10時から正午まで
3	会場	安曇野市役所本庁舎3階 会議室301
4	委員出席者	倉田委員、伊藤委員、小野委員、城戸委員、笹本委員、西澤委員、三原委員、 米山委員
6	事務局出席者	洞教育部長、三澤文化課長、豊科郷土博物館兼穂高郷土資料館原館長、豊科 近代美術館清澤館長、田淵行男記念館兼飯沼飛行士記念館中田館長、穂高 陶芸会館藤松館長、高橋節郎記念美術館宮沢館長、貞享義民記念館寺島館 長、臼井吉見文学館平沢館長、逸見博物館担当係長、児玉博物館担当副主 幹、佐野文化振興担当係長、加藤文化振興担当主査
7	公開・非公開の別	一部非公開
8	傍聴人	1人 (うち記者 0人)
9	会議概要作成年月日	令和6年11月5日
協 議 事 項 等		
○会議の概要		
1	開 会	(文化課長)
2	あいさつ	(教育部長)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の上半期が終わった。それぞれの施設が年度当初から活発に展示や講座などを開催している。その成果か、ほとんどの施設で入館者数や入館料が、前年の同時期に比べて伸びている。</li> <li>・委員の皆さまに、この半年間の活動についてご指摘や改善点の提案などをいただき、是非下半期以降の活動に活かして行きたいと思う。</li> <li>・さて、来年度は安曇野市市制施行 20 年にあたり、各施設で記念の事業なども企画している。また、豊科近代美術館は大規模改修を経て、リニューアル後のお披露目の展覧会も計画している。</li> <li>・大きなイベントの開催により多くの来館者を集め、それを契機にリピーターを獲得し愛される美術館・博物館を目指したい。</li> <li>・また、特別な行事だけでなく、日頃からの活動も重要であると考えている。調査・研究を地道に続けるとともに、小さな改善でも積み重ねて行くことによって、より利用しやすい・利用したくなる施設になるよう、委員の皆さまには忌憚のないご意見を頂戴したいと思う。</li> </ul>
3	報告・協議	
		令和6年度各館事業進捗報告及び今後の予定
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各館長から報告</li> <li>■豊科郷土博物館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「はくせい動物園」は、子どもたちの来館が多く、一緒に来館した保護者にも展示を見てもらえた。企画展を観た後、常設展にも立ち寄ってもらえた。博物館も企画さえし</li> </ul> </li> </ul>

っかりすれば、多くの人たちに足を向けてもらえると自信が持てた企画展だった。

- ・令和8年度の常設展リニューアルにむけて、「安曇野の水の旅と恵み」というテーマで検討している。

#### ■豊科近代美術館

- ・現在改修工事のため、移動展を行っており、4回中2回が終了した。オープンスペースでの展示であり、非常に入りやすい。こういう展示もよいと思われた。なるべく地域に根差した展示を入れ、非常に好評であった。
- ・来年度は「あづみ野ガラス工房40周年記念展」を予定している。
- ・検討中の企画展として、地域の作家を集めた展覧会を模索中。
- ・貸館展は、工事の終了完成日時が目途がつき次第、受付を再開する予定。

#### ■田淵行男記念館

- ・「ちくに生きものみらい基金」を利用した、館内の見学案内と館周辺での生きもの観察会により、小学校の利用が定着してきていると感じている。利用する小学校が固定化されてきているので、校長会でPRを行い、他の学校での利用も増やし、利用者数の増加を期待。
- ・コロナ禍を経て、「田淵行男賞写真作品公募」をほぼ10年ぶりに開催。前回以上の応募点数を集めたく、広報活動をしている。
- ・地階では、前回受賞者の作品を展示している。応募点数を増やすきっかけになるのでは。

#### ■飯沼飛行士記念館

- ・7/25の市内小中学校初任者研修での教員来館時に、児童生徒の校外学習の場として広く利用してもらえようPRした。「ちくに基金」の利用も可能かと思うので、ぜひ校外学習に利用してもらえれば。
- ・常設展は、飯沼飛行士の親族による丁寧な解説、ビデオ映像により、入館者から高い評価をいただいている。来年度も入館者に満足してもらえる運営を進めていきたい。

#### ■穂高陶芸会館

- ・常勤講師がいて、親切・丁寧な作陶指導を受けられる施設。昨年度は、焼成ミスや送付時の破損等があったが、本年度はより一層の丁寧な作業により、クレームは1件も無し。
- ・昨年度に比べ、団体客がかなり減った。コロナ明けにより、小中学校修学旅行が他に流れたか。
- ・初の試みで、「大人向け講座」を実施。来年度も引き続き進めていければと思う。
- ・団体旅行へのPRは重要だが、施設の受け入れ可能数に合ったPRをしていきたい。

#### ■高橋節郎記念美術館

- ・特別展「高橋節郎生誕110年記念展」を開催している。
- ・当館の改修工事に合わせ、12月～令和7年5月は豊田市美術館に当館作品を貸し出す。
- ・生誕110年記念で、バリトン歌手によるコンサートを開催。県外からの聴講者もいて、非常に好評であった。
- ・夏季ワークショップでは、市在住の作家を講師に招いて実施。参加者に好評だった。
- ・来年度は、体験講座作品公募展や、友の会活動の研修旅行を行う予定。

#### ■貞享義民記念館

- ・若い世代での認知が低いと感じ、有料入館者数も前年に比べ若干減少した。このような状況から、当館のことを知っていただくことを一番メインに活動している。具体的には、講座を増やしたり、企画があるたびにチラシを作成。
- ・夏休み親子講座は、今まで歴史系を扱っていたが、あまり人気がなく、そこで、工作系にしたところ、多くの参加があった。その場で当館のPRもしたことで、興味をもった親子が来館した。
- ・今後は、臨地講座や、出前講座を行う。出前講座の依頼はどんどん来ている。
- ・来年度は、資料収集や人権にかかわることも力を入れていきたい。

■ 臼井吉見文学館

- ・常念フェスティバルにて、「臼井吉見ぬり絵」を実施。参加した子どもたちを通して、保護者への臼井の周知に繋がった。
- ・9月8日から企画展「小説『安曇野』完結50周年企画」を開催している。
- ・阿川佐和子氏の講演会を開催したところ、465人の聴講者。臼井及び臼井吉見文学館の知名度を上げることができた。
- ・来年度は、今年度作成した「小説『安曇野』完結50周年企画」コンパクト展示を市内や学校で展示し、広報に努める。

■ 穂高郷土資料館

- ・施設は老朽化しているが、例年それほど減少することなく結構来館者がいる。
- ・地道なファンが来てくれている。勾玉づくり講座も人気。

■ 文書館

- ・前期企画展「今に繋ぎ、伝えてきた区の史実」では、収集してきた資料を発表すると同時に、公民館の代表や、区の役員にも意識をもってもらいたいとの思いで実施した。

■ 博物館担当

- ・例年コンパクト展示を行っている。これは、博物館がただ待っているだけでなく、外に出て行って展示を観てもらおうというもの。
- ・新市立博物館整備方針検討委員会では、新市立博物館の規模・立地条件・人員・費用・既存施設の統廃合を引き続き検討していきたい。

■ 美術館博物館連携事業

- ・いくつかの博物館美術館でギャラリートークリレーを実施。学芸員自身の研修にもなり、新たな視点で作品資料を観ていただく契機にしたい。
- ・学校ミュージアム事業では、明北小学校での実施の際に、博物館の全国大会に訪れた全国の人々にも開放して、観ていただく予定。
- ・信州大学連携では、学生が市内のミュージアムを巡る。将来的に市内の館で働いてくれるかもしれないといった、後進の指導育成という意味でもやっていきたい。

・委員より意見

委員 ガラリートークリレー、美術館博物館無料開放の周知が弱い。広報掲載は小さかったり、チラシ配布のタイミングが遅かったり。ぜひ、もっと早い時期に、多くの人に知ってもらえるような広報を。

節郎館のナイトミュージアムが良かった。他館でも実施してはどうか。

ミュージアムサポーターは市民とミュージアムを繋ぐ有効な手段。募集や研修を大々的に行ってはどうか。

会長 広報は、委員の責任でもある。委員の皆さんにもフリーパスで美術館博物館を巡って、可能な手段を用いて広報していただきたい。

ナイトミュージアムは人員の問題もある。

事務局 広報はスペースが限られてしまうが、みなさんに見ていただけるよう工夫していく。ミュージアムサポーターは募集するしないも含めて検討していきたい。

委員 広報について、信毎・市民タイムス等の無料で掲載できる機会を利用してはどうか。近美は改修工事中だが、移動展を実施していた。近美の玄関先で掲示すれば、通りがかりでも周知できるのでは。

委員 豊科郷土博物館の平和学習。高校生に一番刺さると思う。毎年どこかの高校で実施できないか。

会長 職員が足りないという問題がある。やれる範囲でやれるようにしていく。

豊科郷土博物館 来年も企画展を考えようと思っている。忘れないでしっかりやっていく。

委 員	飯沼飛行士記念館で小中学校初任者研修をしたのは素晴らしい。 市への転入者向けに、安曇野市の美術館・博物館紹介マップを配ってはどうか。
会 長	できたら、学校で教える新任の先生方に研修を受けてほしい。先生方にいくつかの博物館を見てもらう機会を作ってもらえればと思う。
委 員	移動展は三郷での開催が多い。今後は、市内の各公民館や交流学習センターに分散できないか。
会 長	施設の空き状況もあるため、全体を見ながら検討を。
委 員	新市立博物館の検討の進捗は、どこまで決まっていて、今後何を決めるかを教えてほしい。
会 長	委員の皆様にはある程度知ってもらったほうが良い。進捗を書いて出してもらおうようにする。
委 員	文書館で、小説「安曇野」に登場するゆかりの場所を巡るとのことだが、冊子等で残せないか。
会 長	私も希望します。検討を。
委 員	文化課イベントの周知にあたり、地域の回覧板にチラシを入れてはどうか。 また、インスタグラムなどの SNS を活用してはどうか。
会 長	回覧板に入れると結構見てもらえる率が高い。検討してみるように。
委 員	美術館博物館にある展示ケースは子どもにとって高い。踏み台があると良い。 内容が理解できない子供であっても、美術館博物館に触れるというのが大事。幼稚園の先生と話した際に「遠足で美術館博物館に行くのもいいね」という話も出た。 子どものうちに美術館博物館へ行っていると、大きくなってからも行くようになる。 各館の庭がきれい。子どもたちは庭でも楽しめる。
会 長	踏み台については検討を。 海外では小さい子供でも美術館博物館へ行って、感受性を磨いている。
委 員	学校で体験することで、後に親子で行く機会に繋がる。 飯沼飛行士記念館での校外学習も活用していきたい。
会 長	教育現場と美術館博物館で連携しながら進んでいけたらと思う。
委 員	近美の改修工事は、観光客の来訪が少ない時期にできなかったのか。
豊科近代美術館	改修工事は長期にわたるため、観光客の来訪時期を外すというのが難しかった。
会 長	私からの意見。今回の博物館全国大会のテーマは「博物館と観光」。長野県内で「博物館と観光」が成り立つのは、松本・小布施・妻籠ぐらい。安曇野市の新市立博物館は、観光客向けというよりも、市民が来れる、子どもを連れて来れるような博物館を。ただ、観光も含めてみていくのも大事。
副 会 長 (事務局代読)	常設展を無料化することで、業務のスリム化と利用促進を図れるのではないか。 図書館・文書館と同じく、美術館を無料にすることで、より MLA 連携が成立するのでは。あるいは、無料としつつも館内に寄付箱を設けるとか、市内企業がスポンサーとなり無料とするなど。 新博物館構想と絡めて、今後のいろいろな可能性を探ってもらえれば。
会 長	箕輪町の例では、博物館のリニューアルにあたり、多くの人に来館してもらうため無料化した。他の例でも、企画展は有料でも、無料スペースを広くしたりしている。
4	その他 文化施設の名称変更について（非公開）
5	閉 会

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。